

調査名

孔番・深度

H27 B-3 (175 ~ 180)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 175 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破碎度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				ROD
175	175.35		Gp	25YR 6.5 褐灰	✓ b	✓ II	✓ B	β	2			B	175.15 ~ 175.22 m: 割れ目・変質・片状化の岩片は 硬質で割れ目には充填物は分布しない。
		X			X	X	X						
176	176.50		Gp	25Y 7.1 灰緑	✓ b	✓ IV	✓ C	γ	2	✓ 43	✓ 28	CH	175.45 ~ 175.71 m: 片状化の岩片は 代化可能程の高。岩片は堅硬で充填物は分布しない。 面の一部は赤褐色化し、部分的に呈露した。赤褐色部は 褐鉄鉱とある程度あり。
	176.78	X			X	X	X						
177			Gp	25YR 6.5 褐灰	✓ b	✓ II	✓ B	β	2	✓ 37	✓ 14	B	176.78 ~ 179.15 m: B 堅硬、塊状でコア長20cm以上の棒状コア主体。 一部に含む中層割れ目密着度が高く、ハニの打撃で 分離しない。 上位は比へ 緑泥石化の選り、+2~5% 暗緑灰色斑状~ 厚さ0.5% 網状で分布する。細粒の粗は大半が周囲に 密着、均一化している。 177.65 m: 350μm厚さ2~3%の石英片が分布。周囲に同化している。 177.83 ~ 178.27 m: 同様に5~10%の大型石英片。0.9 長石が露出・点在する。
		X			X	X	X						
178			Gp	25YR 6.5 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 49	✓ 49	B	179.15 ~ 180.00 m: CH 179.37 ~ 179.68 m: 一部は割れ目変質部で片状化の 岩片は堅硬で面は赤褐色・赤褐色で充填物も分布しない。 一部は比へ 緑泥石の不均質に付着する程度。 中層割れ目の多くは比へ均一に割れ目化している。
		X			X	X	X						
179	179.75		Gp	25YR 6.5 褐灰	✓ b	✓ III	✓ B	β	2	✓ 43	✓ 15	CH	(21区)
		X			X	X	X						
180	180.00									✓ 43	✓ 15		

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番	H27B-4	観察日			
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 火山灰物 山質土 炭化物 化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
0	0.22				砾石	10R 3/4 黒	φ5~50mmの角礫より成る。若種は砂質頁岩。
1					砾 混 じ り 砂 (盛土)	10R 7/6 明 黄 褐	φ2~20mm程度の礫(角礫~生片礫)を含む。 φ4~40mm 基底は褐色味を帯びた粗砂が主体。 0.22~1.00m間は比較的礫含量に富む。 総じて、深くコアは指圧で容易に凹む。
2					砂 質 礫 (盛土)	10R 7/6 明 黄 褐	礫含量が多くなる。礫種は花崗岩類、Fコア その他、黒石の砂質頁岩やコンクリート片を混じえる。 φ10~100mmの角礫~亜角礫が多い。 3.30~3.58mコンクリート片 3.00~4.00mの間基底は流失済み。
3	3.10						
4							

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27B-4					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				○ r /// □ 山灰物 質化石 炭土貝 木片			
4.00							4.00~8.00 花崗岩、花崗斑岩、アプライト等の花崗岩類の礫も多く含む。他、黒灰色の砂質頁岩礫を少量含む。角礫へ亜角礫が主体で礫径はφ10~50mmが多く、maxφ90mm。基質は色黒砂と粗砂。
5					砂質礫(盛土)	10YR 7/6 明黄	5.73~6.00 基質はセメント状。
6	6.30				砂状じり砂(盛土)		6.30~7.00 砂(粗砂)が主体となる。花崗岩類のφ5~20mmの角礫を含む。その他少量のφ10mm以下の更なる角礫を含む。上位の盛土に較べて、良く締まっている。
7	7.60				砂質礫(盛土)	5YR 7/1 明黄	7.00~7.45 Apの巨礫。頁岩の褶皺岩片を含む。
	7.45				砂状じり砂(盛土)	10YR 7/6 明黄	7.45~7.70 砂・た相礫を含む砂(粗砂)
8	8.00				砂質礫(盛土)		7.70~8.00 花崗岩類の粗〜中礫が主体。砕石、粗砂を含む。

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ◐ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭—— 不明瞭----- 亀裂は赤線, 角度, 条線等

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H24B-4					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカー	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				○ r 山灰物 質壤石 土具片 炭木片			
8.00	8			○ r	砂	10YR 7/6	8.00~8.20 砂(粗砂)が主体となる。
		8.20		○ r	質	明	8.20~ 花崗岩類のφ10~50mmの角~角角礫が主体。下部は礫はApが主体。maxφ90mm。
9				○ r	砂	明	少量の黒灰色の頁岩礫が散在する。
				○ r	質	黄	
10				○ r	礫	黄	10.15mに葉分化した長さ100mmの木片を含む。
		木片		○ r	質	褐	
11				○ r	質	褐	11.03~11.02 含有礫は総じて小さく中礫以下。
12				○ r	質	褐	

スケッチ: 礫はクサリ● 半クサリ◐ 硬質○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
境界 明瞭—— 不明瞭----

第四系コア観察カード

調査名				孔番	H27B-4	観察日
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	地質名	色調	堆積構造・特徴等
			<small>火山灰物</small> <small>山質礫</small> <small>炭土</small> <small>貝化石</small> <small>木片</small>			
12				砂質礫(盛土)	明黄褐	12.05~12.20 Gpの大礫 12.04 木片混じり 12.51~12.63 等角化した木片混じり 13.45~13.75 木片混じり。13.77付近の色は合板 であり、明らかにこれ以上位は人工地盤である。
13						
14				Gp		
15						
16						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
 境界 明瞭 — 不明瞭 - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名

孔番・深度

H27B-4 (13.75 ~ 15.00)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
			盛土									
	13.75		↑									
14	14.00		GP	10YR 7/3 に 3.5 い 貴 橙	0	VI	E	E	2	0	0	D
	14.67											
15	15.00											CLV

盛土
↑

13.75 ~ 14.67 風化が著しく割れ目の多くは不鮮明とほろ

14.24 付近 割れ目と流石にマンガン色の汚染が顕著

14.58 付近 頁岩破片が上部からの崩壊物と思われ

14.67 付近 中には若干軽微な割れ目とほろとほろと
が認められるが、コア下部に重質で脆い、割れ目と
流石に薄い変質層が広く見られるものがある。

調査名

孔番・深度

H27B-4 (15 ~ 20)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分			
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	
15	15.75		GP	5YR 7/3 15.75 橙								15.00 ~ 15.49 低角度の割れ目が優勢。同化により 割れ目沿いの劣化。若干〜シルト状の細粒物が認められる。 コア軟質である。 15.52 ~ 15.60 砾状コア。多くは上部からの崩壊物と思われる。 15.60 ~ 15.91 割れ目沿いの劣化著しく脆弱		
	15.89			10YR 7/4 15.89 明黄橙	C	V	D			CL	4		15.91	
	16.49	16.49		7.5Y 6/3 16.49 オリーブ黄	d	II	VE	8	3	D	Hj		15.91	
	16.52			10YR 8/6 16.52 黄橙									15.91	
16	16.52		GP	10YR 8/6 16.52 黄橙								15.91 ~ 16.36 破砕帯である。全体にマコウで汚染される。 15.91m 土盤 72° 緑灰色の粘土がやや湾曲した角の厚さ 2~6mmで認められる。 16.36m 下盤 76° 灰白色の変質粘土が厚さ2.5mm程度 生じている。 16.36 ~ 16.52m 土位の破砕帯と同化の影響で劣化が著しい。 16.52 ~ 17.03m 割れ目沿いの劣化は顕著で一部砾〜砂状となる。 17.03 ~ 17.86 低角度の割れ目が優勢。割れ目沿いの劣化が見 られ。コア軟質で表面はザラつく。		
	17.66			7.5YR 8/4 17.66 浅黄橙	C	V					14		14	
	18.52			18.52										14
	18.85			5YR 8/5 18.85 淡橙									15	15
17	17.66		GP	7.5YR 8/4 17.66 浅黄橙								17.86 ~ 18.00 コア表面のほうほうきは毎分軽微。 18.00 ~ 19.00 低角度の微細な割れ目が非常に多い。 18.70 ~ 20.00 斜尾石の同化し即座と相対比較的文型 の紋理が直す。		
	18.52			18.52									15	
	18.85			18.85									15	
	19.08			19.08									15	
18	18.52		GP	5YR 8/5 18.52 淡橙								19.59 ~ 19.76 砾状コアが主体となる。		
	18.85			18.85									15	
	19.08			19.08									15	
	19.57			19.57									15	
19	19.57		GP	19.57								19.76 ~ 19.99 19.99		
	19.76			19.76									19	
	19.99			19.99									19	
	19.99			19.99									19	

調査名

孔番・深度

H27B-4 (20 ~ 25)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
20				10YR 8/3								20.02m 付近 かわれ2小規模の破砕帯(変質帯) 割れ目 20.02m 20.02m 小規模の破砕帯(変質帯) 幅 10~40mm 角度 30° 20.23~20.32 割れ目沿いに一部破砕状となる。 20.52~20.55m, 20.87~20.94 碎状となる。	
21	21.30			淡橙	C	D	S		0.5		CL	21.34~21.56 微細な割れ目に沿ってマンガン汚染の明瞭 21.52~22.47 割れ目に沿って、マンガンから赤色を呈する へ変化する	
22	21.85 22.18 22.31 22.38		GP		D	C	R		1.1	1.1	CM	21.85 21.88 21.97 22.02 22.07 22.12 22.17 22.22 22.27 22.32 22.37 22.42 22.47 22.52 22.57 22.62 22.67 22.72 22.77 22.82 22.87 22.92 22.97 23.02 23.07 23.12 23.17 23.22 23.27 23.32 23.37 23.42 23.47 23.52 23.57 23.62 23.67 23.72 23.77 23.82 23.87 23.92 23.97	
23	23.38				C	D	S		0.7	0.7	CL	22.47~22.55 破砕コア。一部は上部からの崩壊物 が含まれていると思われる。 23.39~ コアは軟弱となり、表面はサラツク	
24	24.55								0.5	0.5	CL	24.13~24.55 落したコアを再接取したものと思われる。	
25			流灰						0.5	0.5	CL		

調査名

孔番・深度

H27B-4 (25 ~ 30)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
25	25.48		流 矢									
26	25.78		淡 橙	10YR 8/3		✓ C	5	3		✓ 18	✓ 18	
	26.19						✓ D					
	26.30						✓					
	26.48						✓ C					
	26.96						✓ C				28	✓ 14
27	27.22		GP			✓ D						
	27.38						✓				27.38	
	27.85						✓ B					
28	27.85		GP									
	28.24											
	28.55											
29	29.25		GP									
	29.48											
	29.59											
30	30.00		GP	5YR 7/6		✓ N				✓ 15	✓ 15	

25.74 ~ 26.19 コアは軟層と硬層のガラツキが大きい

26.00 ~ 26.40 割れ目が多いの岩化が明確、コアも同様の硬さである

26.96 ~ 27.22 岩層が軟質で脆弱である

27.22 前断性状の漸れ性、変質も加わり上盤側は斜交帯で幅20mm程度、角度40° N7E, 64W

27.95 ~ 28.00 前断性状の割理が局所的に集中し脆弱である。

28.24 低角度で幅10mm程度の硬層となり、上下盤はツブツブ。

29.48 ~ 29.91 微細な割れ目が集まり、コアは脆弱となる。29.59 ~ 29.70 微細な割れ目だけマシなところも混在する。29.60 ~ 29.70 前断性状の割理が卓越する。

29.04 ~ 29.78 微小規模の破砕帯、上盤側は角度40°、白色土と下盤67°マシな混在顕著、上盤側は幅1cm、一部で変質を伴う。

調査名

孔番・深度

H27B-4 (30 ~ 35)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分			
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	ROD
30	30.03			5YR 7/4		✓						30.10 ~ 30.69 低角度の斜れ目が優勢である。 30.62 ~ 30.72 の間、不規則な形状の高角度の斜れ目が2条見れ、マカマカ 3~5mm の厚さで折れ出している。		
	30.29													
	31			1=		✓								
					3:		✓			25	13			
					い									
					橙									
32	31.77					✓						31.77 ~ 31.93 中角度の微細な斜れ目がほぼ平行に交差する。 31.87 ~ 31.91 剪断を受ける土盤 45° 暗緑・灰色の粘土 ~ シラセ 3mm 伴う。下盤 40°。上下盤の間はやや緑色味を帯びた軟層である。 32.26 ~ 32.39 30~90° 程度の剪断性土の節理が平行して集中する。 32.68 ~ 32.72 30° 程度の節理がほぼ平行して集中する。緑色の薄い層が3条見れり。 33.00 ~ 33.62 30~50° の斜れ目が優勢、斜れ目と沿って明瞭な劣化が見れりものが多い。		
	31.93					✓								
	32					✓								
							✓			12	12			
							✓							
							✓							
33	32.34					✓								
	32.46					✓								
	32.67					✓								
	32.80					✓								
	33													
										22	10			
34	33.67													
	34.00													
	34.11													
	34.42													
	34.65													
	34.79													
35														

調査名

孔番・深度

H27B-4 (35 ~ 40)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分				
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化						変質		
35			H27B-4										<p>35.60 ~ 35.78 低角度の割れ目 平行した割れ目が集まり 脆弱となる。割れ目沿いに白色の鉱物脈が見られる所 が多い。 35.72付近 剪断破砕を局所的に受け礎状となる。</p>			
	35.32															
	35.60															
	35.78															
36			GP	に 3: い 捲									<p>36.14 ~ 36.35 この間割れ目が十中八九あり</p>			
37													<p>36.98 ~ 37.10 高角度の割れ目に沿って出た砂、厚さ10mm程度で細砂~砂状となる。</p>			
38													<p>37.26 ~ 37.50 25°の割れ目に沿って厚さ4mmの暗褐色のシルト~砂が挟まり(流入?)</p> <p>37.36 ~ 37.78 割れ目の汚染は明瞭であるが挟在物は見られない。</p> <p>38.08 ~ 38.26 挟在物が見られた割れ目は、38.52の高角度のものが1条のみ。</p>			
39													<p>38.96 ~ 39.24 割れ目に沿って岩化するものが多い。</p> <p>39.21 ~ 39.60 ~ 39.65 割れ目沿いの岩化は、幅10mm以下で70%程度礎状となる。</p>			
40													<p>39.50 ~ 39.74 浅黄</p>			

調査名

孔番・深度

H27B-4 (40~45)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
40	40.11			25Y7/4	✓						
	40.58			浅黄	✓						
	40.64			40.68	✓						
	40.93			5YR7/4	✓						
	41.20				✓				0	8	
	41.37				✓						
	41.47				✓						
	41.57				✓						
	41.80										
	41.91										
42	42.12		GP	3C	✓						
	42.25			3C	✓						
	42.35			3C	✓						
	42.44			3C	✓						
	42.64			3C	✓						
43	43.05				✓						
	43.75				✓				0	4	
	43.54				✓						
	43.65				✓						
	43.80				✓						
44	43.21				✓						
	43.55				✓						
	43.58				✓						
45	43.58				✓						
	43.58				✓						

40.64~40.93 割れ目が卓越し、割れ目沿いの劣化が明瞭。砂~粗砂となる所が多い。割れ目沿いに変質している。

40.93~41.00 割れ目沿い劣化、粗砂状となる。

41.00~41.20 低角度と高角度の割れ目が交叉し、層状となる。割れ目沿い劣化が見られるものが多い。

41.37~41.47 ほぼ平行の割れ目が集中。割れ目沿いの劣化が明瞭で脆弱。

41.57~41.80 割れ目沿いの劣化が顕著で非常に脆弱である。

42.12~42.25 割れ目沿いの劣化が顕著。一部同様の石少状となる。粘土付。脆性なし。

42.35 25°の割れ目に厚さ2~3mmのマンガン様皮

42.38~42.46 局所的に固結した砂に岩片が混入。褐色汚染も明瞭。

43.05 前断破砕をこの規模に受ける。角度32°幅10mm。土盤は石英脈を伴う。下盤は粘土2mm。
43.06~43.15 岩片状コア(人為的打込みを含む)

43.54~43.65 変質及び同化の劣化脆弱となる。43.63m 白色の変質脈。粘土付はしていないが軟質

43.80~43.90 低角度の割れ目が卓越し、コアも軟質となり。表面はサラツク。

44.46 42°の割れ目沿いの褐色汚染顕著。周辺には絹雲母と自鉄鉱(黄鉄鉱の分解途中)が散在している。

調査名

孔番・深度

H27B-4 (45 ~ 50)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
45	45.42					IV	C					45.10 節理の断理 上盤側は一部のみで脆弱となる。絹雲母が散在している。
	45.62					IV	D			CL		45.42 ~ 45.62 微細な割れ目が集まり、コアの断面で表面がざらつくものが多い。
	46.00					IV	C		0	8	46.00	45.73 ~ 45.80 割れ目が比較的粗い。碎粒状の砂状となる。
46	46.10			5R 7/4			B			CM	46.00	46.10 ~ 46.35 60 ~ 90°の割れ目が集まる。挟在物の見られる割れ目もあるが、汚染はほとんど見られない。
	46.28					IV	C			CL	46.10	
											46.28	
						IV	B			CM		46.35 ~ 46.50 60 ~ 90°の割れ目が集まる。挟在物の見られる割れ目もあるが、汚染はほとんど見られない。
						IV	C			CL		
47	47.11		GP			IV	B		10	10	47.11	47.11 ~ 47.32 微細な割れ目が細目状となる。割れ目沿いの劣化が見られ、軟弱となる。
	47.32					IV	C			CL		
	47.53					IV	B			CM	47.32	47.36 ~ 47.53 高角度と低角度の割れ目が交差し格子状となる。割れ目の汚染は見られるが、砂状の挟在物が見られる。
	47.76									CL	47.53	47.56 ~ 47.76 微細な割れ目が卓越し、軟弱となる。47.56 ~ 47.88 間は、割れ目沿いのマンガン汚染が明瞭。
										CL	47.76	
48									0	9		48.38 破砕帯 上盤52° 下盤45° 幅30mm 若干剥離
						IV	D			CL	48.38	48.38 ~ 48.73 破砕帯 上盤52° 下盤45° 幅30mm 若干剥離
						IV	C			CL	48.73	
49	49.23					IV	C		0	5		49.18 節理の断理 63° 上盤側は幅20mm 劣化し脆弱となる 49.43 白色の鉄物脈 同化し軟弱な層 45° 角度47°
						IV	C			CL		
50						IV	C			CL		

調査名

孔番・深度

H27B-4 (50~55)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの硬さ	コアの硬さ	風化	変質				
50													50.07 70°の傾斜に割れ目がマニコン層を5cm折出
	50.39					N	C				CL		39 50.39 ~ 50.60 岩化のコア層が軟質。底層は砂状と砂質層がある。軟質脆弱
	50.60					V	E				D		50.58 ~ 50.92 白色粗脈が不規則に入る。
	50.99					V				6	6		51.20 ~ 51.43 微細な割れ目が卓越し、連片状となり割れ目には、乙深い排色脈(カリ長石)が見られる所が多い。
	51.48			51R 3/8 1=3.1 橙		V	C						51.66 ~ 51.92 微細な割れ目が非常に卓越(30~50)。コアは軟質である。
	51.86					N							51.90 45°の割れ目沿いに変質した白色結晶物脈厚さ4cm汚色注注明瞭。
	51.97									11	11		52.08 ~ 52.46 微細な割れ目が卓越。コアは所所的に破砕と成る。上盤側の割れ目に厚さ4cmのマニコン存在する。
52			GP			C	V	C				CL	52.44 ~ 52.74 低角度の割れ目が卓越。割れ目には、乙汚色注注は軽微である。
	52.30												
	52.88									0	6		53.58 ~ 53.89 割れ目沿いの岩化が明瞭で、コアの一部は粗粒~砂状と成る。
53													53.84 の高角度の割れ目には、乙岩化の一部は粗粒と成る。
	53.54												
	53.83												
54				54.13 10YR 7/8 明黄橙						0	4		54.46 ~ 54.73 50~60°のほぼ平行な割れ目には、乙岩化の一部は粗粒と成る。汚色注注も顕著。
	54.01												
	54.43					V	C						
	54.65												
	54.72			54.72 5YR 7/8 1=5.1 橙		V							
55										0	9		

調査名

孔番・深度

H27B-4 (55 ~ 60)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
55												54.96 ~ 55.55 低角度の割れ目が非常に発達する
	55.44				✓	✓				CL		55.46 ~ 56.00 50°の割れ目同様に厚さ3mm程度の層状構造を有する。泥質も認められる。
	55.70					✓						
56	56.00				✓	✓		0	5			
	56.41				✓	✓				CM		56.45 ~ 56.61 高角度と低角度の割れ目が交差し、亀甲状とD3。
												56.64 ~ 57.00 70°の割れ目は褐色粘土厚さ3mm存在。
					✓	✓				CL		56.88 ~ 56.98 約60°の層状平行に微細な割れ目水準。一部破壊コアとD3。
57	57.09		GP					10	10			57.24 ~ 58.50 この間多くの割れ目に褐色泥質が見られる。
	57.41				✓	✓						
	57.54				✓	✓				CM		57.54 ~ 57.74 割れ目沿いの岩化。軟質脆弱。
	57.74				✓	✓						
	57.91				✓	✓		0	6	CL		
58	58.06				✓	✓						58.06 ~ 58.71 砂状の塊状物が見られる割れ目が多い。劣層は硬い。
					✓	✓				CM		
	58.71				✓	✓						
					✓	✓				CL		
59	59.02				✓	✓		32	19			59.02 ~ 59.34 潜在的な割れ目の除去。割れ目のない柱状コア。劣層は硬い。
	59.34				✓	✓				CM		
	59.62				✓	✓				CM		
					✓	✓						
					✓	✓		44	32			
60					✓	✓				CL		